

坂田昌一 さかた ちやういち 物理學者、理學博士。明治四十四年一月十八日東京
 生れ、昭和四十五年十月十六日没（一九二一—七〇）。昭和八年京都帝國大
 學理學部物理學科卒。湯川秀樹の中層子理論研究を助勢。十七年名古屋
 屋帝大教授、二十五年日本學士院恩賜賞受賞。

- 著書 『原子核及宇宙線の理論』（湯川秀樹共著、昭和十七年十一月）
 『素粒子論の背景』（昭和二十一年十一月）岩波書店（）、『物理學と方法—素粒子論の背景』（昭和二十一年十一月）岩波書店（）、『物理學と方法—素粒子論の背景』（昭和二十一年十一月）岩波書店（）、再刊、二十六年十月十日岩波書店（）、『學問
 ・思想の自由のたのび』（合著、日本學術會議一羽仁五郎編、昭和二十五年四月二十五日北隆館（）、『真理の場、いささか』（湯川秀樹・武
 谷三男合著、昭和二十六年二月十日毎日新聞社（）、『平和時代を創造
 するたのび—科學者は訴へる』（共編著、昭和二十八年一月二十五日
 岩波書店「岩波新書」（）、『科學と平和の創造—原子科學者の記
 録』（昭和二十八年二月二十八日岩波書店（）、『素粒子の本質』（共
 編、昭和二十八年九月二十七日岩波書店「現代科學選書」（）、『核時
 代を超越する—平和の創造』（共編著、昭和四十二年八月）
 十日岩波書店「岩波新書」（）、『物理學と方法—論集一』（昭和四十
 七年十一月二十日岩波書店（）、『科學者と社會—論集二』（昭和四十
 七年十一月二十日岩波書店（）等。

